

技術特集 2. 制震ブレース工法の適用事例 —「柿の木坂パレス」耐震補強工事—
 Application to Seismic Retrofit Method by Means of Damping Braces
 -The Retrofit Design and Work at “KAKINOKIZAKA PALACE”-

*齋藤富士雄 **小林隆将 ***滝口純一 ***松島稔

—背景—

2023年2月14日(火)に、一般財団法人日本建築防災協会主催の「令和4年度(第12回)耐震改修優秀建築・貢献者表彰」の表彰式が開催され、当社が設計および施工を実施した「柿の木坂パレス」が耐震改修優秀建築賞を受賞した。「柿の木坂パレス」は、地上13階建ての総戸数146戸の共同住宅である。本建物は、東京都特定緊急輸送道路(環状7号線)に面しており、耐震診断の義務化と耐震改修の積極的な実施が求められていた。当社技術研究所で開発した制震ブレース工法を採用し、バルコニー先端に補強材を設置することで、居住者が引越しをせずに住みながら工事を実施した。

—技術的な特長—

付録の論文では、「柿の木坂パレス」の耐震補強工事の概要ならびに区分所有者の合意形成を得るために管理組合執行部と協同して取り組んだ内容の一部を抜粋して示している。なお、今回、紹介する改修事例は、最新の技術を駆使したものではなく、20年以上前に開発した技術を1つずつ案件毎のニーズに適するよう設計および施工を工夫してきた経験を活かしたものである。

146戸の区分所有者の合意形成を得ることができたのは、地道な対話によるものであると考えている。計画段階から工事完了まで熱意ある管理組合運営を行われた理事の方々、施工段階での騒音や振動の発生等も受忍、御理解して頂いた全住民の方々、その他関係者の皆様に深く御礼申し上げます。



写真1 柿の木坂パレス外観



写真2 授与された賞状と賞牌

*東京建築本店 営業第二部 **東京建築本店 設計部 ***建築技術本部 施工技術部

※付録の論文は「建築防災 2023年3月号(日本建築防災協会)」に寄稿した記事に加筆修正をしたものである。